

福井市学校教育目標

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成  
学校教育方針 学びをつなぐ・未来につなげる  
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

本校児童の強み

- ・まじめに、指示されたことには一生懸命取り組む。
- ・素直で明るい。
- ・学年を超えて仲良く交流できる。

本校児童の弱み

- ・困難を克服したり、新しいことにチャレンジしたりしようとする意欲が低い。
- ・理由や根拠をもとに説明したり、発表したりすることを苦手とする児童が多い。

令和5年度 福井市宝永小学校 スクールプラン



校訓 原 泉 「原泉混々として昼夜をおかず」という孟子の言葉を書いた福井藩16代藩主 松平春嶽の書に由来する。

教育目標

ひとり立ちできる子

～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～

研究主題

生き生きと学び合う子を目指して

～ICTを活用した主体的・対話的で深い学びのある授業づくり～

保護者・地域・教職員の強み

- ・市の中心部に位置し、歴史と伝統のある学校である。
- ・史跡や古くからの商業地、公共施設を有し、さまざまな学習に活用できる環境にある。
- ・地域や保護者の学校教育活動への理解度が高く、協力的である。
- ・教職員間の雰囲気良く、お互いが気軽に話したり、相談したりできる。

保護者・地域・教職員の願い

- ・新しい時代をたくましく生き抜く力を身に付けてほしい。
- ・地域に誇りと愛着をもち、地域に貢献できる子になってほしい。
- ・自律的に行動できる子になってほしい。

重点目標

確かな学力の向上  
進んで学び合える子

豊かな心の育成  
協力し合える子

健やかな心と体の育成  
心と体を鍛える子

家庭・地域との連携  
ふるさとを大切にする子

わかる授業づくり

- ◎主体的・対話的で深い学びの実現
  - ・主体的な学びを促し、思考を深める学習課題の工夫
  - ・対話的な学び合いの場の設定
- ◎基礎・基本の定着
  - ・学びのルールの定着
  - ・基礎学力の定着
  - ・読書活動の推進

居場所づくり・絆づくり

- ◎温かい人間関係のある集団づくり
  - ・ピアサポートを通じた学級づくり
  - ・にこフレ（縦割り）活動の充実
  - ・「思いやり清掃」の推進
  - ・いじめを見逃ごさない生徒指導
  - ・規律ある生活態度の定着
  - ・規範意識や自己肯定感の涵養
  - ・教職員による児童理解の充実

心づくり・体づくり

- ◎人権教育を含めた道徳教育の充実
- ◎自己の体力向上
  - ・運動習慣づけの推進
- ◎望ましい生活習慣の確立
  - ・食育・健康教育の推進
  - ・早寝・早起き・朝ごはんの推進
  - ・挨拶運動の推進
  - ・スマートルールの定着
  - ・登下校の安全確保と安全教育の充実

家庭・地域や中学校区との連携

- ◎地域を活用した学習・活動の工夫
  - ・地域の資源や人材の積極的活用
  - ・教科領域横断的な学びの工夫
- ◎家庭・地域との協働体制の構築
  - ・関係団体との協働事業の推進（学校ボランティア・見守り隊）
  - ・情報発信による子どもの成長の共有（学校公開・学校だより・学年だより・HP）
- ◎園小中連携の継続と移行支援の充実

ICTの活用

- ◎1人1台端末の効果的な活用
- ◎情報モラル教育の推進
- ◎教職員の自己研鑽と協働体制

キャリア教育の充実

- ◎将来の夢や生き方について考える教育活動の推進

- ・(児)学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広めたりできている 90%以上
- ・(児)授業中、分かる喜びや、できる楽しさを感じられる 90%以上
- ・(教)全教育活動で自己表現する場を多く設定し児童が学年相応の表現力を身につけるように工夫している 90%以上

- ・(児)学校が楽しい 90%以上
- ・(児)将来の夢やめざす目標をもっている 90%以上
- ・(児)みんなで何かをするのは楽しい 95%以上
- ・(児)いじめを見たら大人に知らせたり、とめたりすることができる 85%以上
- ・(教)児童の良い点や頑張っている点を積極的に認め、ほめている 85%以上

- ・(児)道徳の時間には、考えを深めることができている 90%以上
- ・(児)早寝早起き朝ご飯などの規則正しい生活ができている 85%以上
- ・(児)お客様や先生、友達、地域の人にあいさつができる 95%以上
- ・(保)我が子は、「我が家のスマートルール」を守っている 80%以上

- ・(児)郷土福井を大切にしたい 95%以上
- ・(保)学校は教育方針や教育内容を適切に伝えている 90%以上
- ・(保)学校は地域の人材や環境を生かし、つながりを大切にしている 90%以上
- ・(教)地域の人材や環境を積極的に活用している 90%以上

【業務改善の取組】退庁完了の目標時間設定、終了時刻の明確化による会議時間の短縮、業務推進日の設定、会議・連絡のペーパーレス化、文書ファイルの適正化による業務の効率化、計画的な休暇取得推進によるワークライフバランス、ノー残業デーの遵守